

第6回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

|           |  |   |     |          |
|-----------|--|---|-----|----------|
| 開催日       | 平成30年2月22日(木)  |   |     |          |
| 開催時間      | 開 会  | 午後9時30分   | 閉 会 | 午後10時30分 |
| 開催場所      | 市役所 501・502会議室   |   |     |          |
| 委員出席者     | 伊那市区長会<br>箕輪町区長会<br>南箕輪村<br>伊那中央行政組合<br>伊那市社会福祉協議会<br>伊那商工会議所<br>箕輪町商工会<br>南箕輪村商工会<br>上伊那農業協同組合<br>上伊那森林組合<br>伊那バス株式会社<br>ジェイアールバス関東株式会社 中央道支店<br>有限会社 白川タクシー<br>長野県宅地建物取引業協会 南信支部<br>伊那市保育園保護者会<br>信州大学<br>公募 | 小林 建正<br>金澤 芳雄<br>高見 利夫<br>宮原 文彰<br>矢澤 秀樹<br>矢野 昌史<br>小河 節郎<br>中川 博夫<br>鳥原 秀夫<br>原 武志<br>福澤 信義<br>名和 進<br>白川 光朗<br>北原 由基雄<br>金子 靖子<br>鈴木 純<br>杉山 祐樹 |     |          |
| 欠席者       | 伊那市観光協会<br>伊那市ふるさとメッセンジャー<br>上伊那PTA 連合会  | 中村 忠人<br>高沖 清乃<br>伊藤 透  |     |          |
| 委員以外の出席者  | 上伊那地域振興局企画振興課長   | 池内 武久   |     |          |
| 出席した事務局職員 | 伊那市企画部長<br>伊那市企画部地域創造課長<br>南箕輪村地域づくり推進課長<br>伊那市企画部企画政策課長<br>伊那市保健福祉部子育て支援課長<br>伊那市企画部地域創造課課長補佐<br>伊那市企画部地域創造課人口増推進係長<br>箕輪町企画振興課まちづくり政策係長<br>南箕輪村地域づくり推進課企画係長  | 飯島 智<br>宮原 貴敏<br>田中 俊彦<br>重盛 巧<br>網野 喜彦<br>小川 貴<br>伊藤 透<br>鈴木 清次<br>山口 弘一郎  |     |          |
| 議 事       | (1) 今後の取組等について<br>(2) その他  |   |     |          |

|      |  |
|------|--|
| 配布資料 | 資料 1-1 地域公共交通における今後の取組等<br>資料 1-2 「伊那本線」停留所の環境整備について<br>資料 2 伊那中央行政組合 病児・病後児保育施設 |
|------|--|

## 1 開 会

金澤副会長より開会が宣言される。

## 2 あいさつ

### (1) 市長あいさつ

本日は、お忙しい中、伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会に出席いただき、感謝申し上げます。伊那地域定住自立圏については、これまで共生ビジョンに基づき、3市町村が相互に役割分担と連携・協力を図りながら、圏域全体の物件情報をまとめて発信する「空き家バンク」ホームページの構築や伊那中央病院に「病児・病後児保育施設」を新設し、圏域内の子ども子育て関連事業間での協力体制の構築、さらには圏域内を縦断する路線バス、及び市内循環バスの内回り便の試験運行など、政策分野ごとに各種事業に取り組み、圏域全体の必要な生活機能の確保及び地方圏における定住の受け皿の形成を推進してきた。共生ビジョンに基づく取組も2年目に入らる中で、取組内容の深化が求められる段階となっており、今後は取組に関する基本目標や業績評価指標の達成に向け、より実効性のある施策や事業に取り組んでいく。

最後に、委員の皆様におかれては、本年4月末をもち、2年間の委嘱任期が満了する。これまで、公私ともお忙しい中、共生ビジョンの策定・推進に関して、貴重な御意見、御協議をいただいたことに対し、改めて感謝申し上げますとともに、今後ともそれぞれのお立場から、伊那地域の定住自立圏構想のさらなる進展のため、格別の御理解と御協力をお願いする。

### (2) 会長あいさつ

今年度2回目の開催となるが、前回は平成29年10月13日に開催し、共生ビジョンの具体的な取組事項に係る昨年度の実績及び成果指標などの進捗状況等を確認いただいた。

本日の議題は、地域公共交通における今後の取組等を予定しているので、円滑な議事の進捗と合わせ、活発な議論となるよう協力をお願いする。

## 3 会議事項（進行：小林会長）

### (1) 今後の取組等について

#### ① 地域公共交通における今後の取組等

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料1により説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等はあるか。

委 員： 伊那本線は自動車運転免許を返納している高齢者等にとっては、買い物等の利用の際に便利であると聞いている。

- 委員：伊那本線は1便当たりの利用者数は徐々に伸びてきているので、今後さらに利用者数が増えるように、常に制度を見直しながら、運行を継続してもらいたい。
- 委員：沢渡駅は高校生の利用が多いので、安心して快適に利用できる待合所等の整備については、伊那本線及びJR飯田線の相互の利用者にとって良いことだと思う。
- 委員：待合所等の整備に要する経費は、すべて伊那市が負担し、JR東海の負担はないのか。
- 事務局：待合所等の整備は伊那市、ホームの上屋及びスロープの設置はJR東海がそれぞれ費用負担することになっている。

## (2) その他

### ① 病児・病後児保育施設「あるぷす」

- 会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料2により説明)
- 会長：説明内容について、ご意見、ご質問等はあるか。
- 委員：施設の利用にあたって、かかりつけ医から医師連絡票を受け、前日に施設へ電話予約を入れるということであるが、定員が限られている中で、すでに満員である場合があるので、インターネットで予約状況が確認できると便利だと思うので、検討をお願いしたい。
- 事務局：今後、利用実態を踏まえて、運営事業者及び3市町村の担当者と利便性が図れるように検討していく。

### ② その他

- 委員：「子育て施設拠点施設の相互利用の充実」の取組に関連して、3市町村にある文化施設等の公共施設を利用するにあたって、子育て支援の観点から親子が利用する場合の無料化なども検討してはどうか。
- 事務局：公共施設はそれぞれ条例等により利用料金が規定されているため、関係課と情報共有し、検討していく。
- 委員：3市町村を結ぶ伊那本線の路線バスの運行については、画期的で地域の連携が深まる取組であると思う。今後は、運行を長く継続してもらい、地域住民の方にも認知され、定住自立圏として効果のある取組にしてほしい。
- オブザーバー：地域公共交通の路線バスの運行については、厳しい状況の中、定着に向けて地道な取組を継続して行うことと併せて、イベント等を通じて、まず親しみをもってもらう取組も必要である。地域公共交通における県の施策についても、今後情報提供させていただく。
- また、病児・病後児保育施設等の子育て環境の整備については、移住定住に向けたインセンティブにもなる。

## 4 その他

(伊那市子育て環境紹介映像を放映)

## 5 閉会

高見副会長より閉会が宣言される。